



第五十九回通常総代会を開催

原案通り可決される

九月三十日に三倉総合センターに於いて、第五十九回通常総代会が開催されました。総代会には総代・役員を始め、御来賓として、森町長・太田康雄氏、静岡県中遠農林事務所長代理 農山村整備部技監・片田哲利氏、静岡県森林組合連合会長代理 理事兼参事・高橋雅弘氏、衆議院議員・宮沢博行氏、静岡県議会議員・伊藤和子氏、同・渡瀬典幸氏、地元町議会議員の御臨席を賜り行われました。



挨拶をする 甚沢万之助 代表理事組合長

議事に入る前に甚沢組合長は、日々の組合運営に於いて、ご指導ご協力頂いていることに対し冒頭で御礼申し上げ挨拶を致しました。

今年度は林業界にとって大変大きな変革期に入ろうとしています。一つ目は、森林環境譲与税管理法案が成立した事です。これにより、森林がより一層管理され「良い山」「素晴らしい山」になって行く事を期待するものです。

今年の七月八日付けにて新しい林野庁長官が就任されました。木材産業の成長産業化の為に木材の安定供給をせよと国や県は言うのですが、今の現状では何か安値安定供給で我々林業界では蚊帳の外のように私はいつも疑問に思っていました。あるセミナーの挨拶で新長官は次のようなことを言っていました。一部分を朗読します。

「林野庁長官として取り組むべきことの第一は、木材の需要を大きくし、出口を作ることだと考えています。単に木が売れると言う事ではありません。森林組合の皆様が成長した森林を担っていたいただき、過去に手を入れて苦勞されてきた森林所有者に報いていかなければならない。その為に木をお金にする事、有効利用の方法も考えて日本全国の森林にお金が返るようにする。その為に木材の需要を大きくしなければならぬと考えています。

二つ目は、林業経営の持続性を実現して行く事です。持続性とは、単に資源を収獲して更新すると言う事にとどまりません。それも基本的で重要なファクターではありますが、それだけではなく、経済・社会・環境が持続して人間の役

に立ち、未来の世代に引き継いで行けるという持続性を考えなければなりません。しかし、こうした持続性を実現する上で、一番危惧されているのは再造林の問題です。伐ったら伐りっぱなしで放っておかれる山が増えていきます。この原因には、山元にお金が返らないことがあります。次の世代の為に植える意欲を出してもらうには様々な要因はありますが、まず山元にお金を戻していくことに取り組みたいと考えています。」この様に林野庁長官が決意を述べております。私たち森林組合は、そうして下さる事、その様になる事を願って頑張って参ります。

森林を維持、管理、保全等、健全な運営を図られている事に対し深く感謝している。町ではこうした取り組みを支援するだけでなく、森林組合とも一体となって森林の整備に努めたい。 太田康雄 森町長

木材輸出に関して、中国の需要を取り込み、日本の木材を売り込む。獣害対策として二ホンカモシカを適正に管理できるような働きかけを行っている。皆様の活動をしっかりとサポートできるよう努力している。 宮沢博行 衆議院議員

来賓祝辞



林業に携わる皆様方の努力が報われるべきであり、県の行政が機能しているかどうか、我々議会がしっかりとチェックしていく。林業の現状を見つめながら皆様のお役にたてるよう頑張っていく。 渡瀬典幸 県議会議員

県議会一般質問の中で、森林認証材の利用拡大、認知度向上について実情の問題提起を行った。県知事より前向きな答弁を頂いており、県と一緒に取り組んでいく事を確認する事ができた。 伊藤和子 県議会議員



森林環境譲与税や新たな森林経営管理制度のスタートであり、林業界にとって節目をむかえている。森林組合ではこれを好機と捉え森林整備の実行力を上げてもらいたい。 片田哲利 中遠農林事務所 農山村整備部技監

林業の労働災害が増えている。しっかりと安全に気を付けて頂きたい。連合会では安全講習等を開催しているのでご依頼があれば皆様と一緒に取り組んでいきたい。 高橋雅弘 県森連理事兼参事

来賓の皆様から激励と心強いお言葉を頂きました。



本人出席 31名、委任状 12名、書面議決 30名 合計 73名のもと開催

森組からお知らせ

- 組合員名簿等名義変更について
所有森林で相続・取得・売却等が生じた際には、組合員名簿及び出資証券の名義変更等が必要となりますので、ご連絡下さい。
- 一般賦課金納入のお願い
令和元年度の一般賦課金通知書を御送付致しましたので11/29までに納入下さいます様をお願いします。
- 森町産業祭出店について
11/17(日)に開催される「もりもり2万人まつり&農協祭」に今年も林産物を出店致します。
- 秋の森づくり県民大作戦について
11/24(日)に開催される「わくわくドキドキ森だくさん」が磐田市大平・獅子ヶ鼻公園で開催されます。

編集後記

9/27 に大日山金剛院で柴灯護摩祈禱(さいとうごまきとう)が行われ初めて参列しました。
火渡りは煩惱を焼き尽くし心身が清められるとされています。



就職して約20年、初めて参列することができた本厄年の森林経営課長でした。それにしても大迫力!

森林認証を深く知る④

FSCの10の原則にもとづき、森林管理計画書を作成し、それを根拠に森林を管理して行くことで「持続可能な森林経営・管理」が実現されます。



森林管理計画書の中にはモニタリング実施要領という項目を策定しており、伐採搬出、作業道開設などの計画と実際の結果との差異を把握するために行います。遠州認証グループではそれぞれのサイトで山林が適正に管理されているかどうかのモニタリングを実施しました。

森林認証を通じてグループ内の多様な山林を見て廻る事ができるのも森林認証を取得した効果ではないでしょうか。

森林認証FSC普及PR活動③

～パンフレット第2弾～

遠州森林認証グループがFSC森林認証を取得して4年目になりました。認証を普及PRするために行った活動の記録をパンフレットとしてまとめました。

森町有林より認証材を搬出し、使用した自転車バイシクルラックの製作等ご理解のある方だけでなく、森林認証って何だろう?と疑問をもたれる方にもみて頂きたいです。

森町森林組合にございますので、ご興味のある方は是非、手に取ってご覧ください。



普及PR活動実績 2017.3-2019.9

半年が経ちました

林業という仕事は屋外の作業が主であるため、暑い中での草刈りや斜面での伐採作業が慣れていないので、体力的にきつい場面もありました。しかし、森町の自然の中で伸び伸びと仕事ができるので外仕事が好きな私にとっては、とても良い環境です。

この半年で基本的な伐倒・造材技術や機械の使い方、また、林業の知識などについて学びました。その中でも特に木を倒した後の爽快感や支障木伐採・間伐などを行い綺麗になった森林を見ることができるところが大好きです。また、仕事をした後の御飯がとっても美味しいです。

これからは、今まで以上に林業についての知識や技術を学び、林業機械の操作も習得し伐倒も重機も両方出来るようになり、作業の幅を増やしていきたいです。まだまだ半人前ですが1日も早く1人前になれるように、これからも頑張っていきたいです。

森林施業係 池谷芹菜



～作業風景～

受口ヨシ! 追口ヨシ! 伐倒方向ヨシ!



静岡県森連天竜事業所市況 令和元年10月9日 (2092回市) 土場在庫137台

すぎ

長さ(m)	末口径(cm)	中値	1本当たり単価(円)	摘要
3m	14	9,000円	531円	柱目3.5寸取
	16~18	12,000円	1,044円	柱目4寸取
	20~	12,000円	1,584円	中目
4m	14	10,000円	780円	桁目3.5寸取
	16~18	10,500円	1,218円	桁目4寸取
	20~22	13,500円	2,376円	中目
	24~28	16,000円	4,320円	中目
	30~34	18,100円	6,970円	二番玉節小
6m	16~18	15,000円	-	通し柱4寸
	20~22	15,000円	-	通し柱太角

ひのき

長さ(m)	末口径(cm)	中値	1本当たり単価(円)	摘要
3m	14	14,000円	826円	柱目3.5寸取
	16~18	18,000円	1,566円	柱目4寸取
	20~	15,000円	1,980円	太角目
4m	14	15,000円	1,170円	土台目3.5寸取
	16~18	17,000円	1,972円	土台4寸取
	20~22	16,000円	2,816円	中目縁甲取
	24~28	18,000円	4,860円	中目
	30~34	20,000円	8,200円	二番玉節小
6m	16~18	26,000円	-	通し柱4寸
	20~22	20,000円	-	通し柱太角

三木の森林だより

～山のことなら何でも森町森林組合に～

発行/森町森林組合

〒437-0208 静岡県周智郡森町三倉 826-2

TEL: 0538-86-0211 FAX: 0538-86-0212

E-Mail: jigyuu@forest-morimachi.or.jp

URL: http://www.forest-morimachi.or.jp